

平成24年度  
実施事業

事務事業名	し尿処理業務（し尿処理・収集量）
-------	------------------

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	3	生活排水の適正な処理
小分類	3	し尿の適正処理
主要な施策	1	①し尿処理施設の整備
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 2 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策グループ
-----	-------	-------	---------------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください) し尿を適正に収集、処理することにより、市民の生活環境を清潔にするとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とする。
	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) し尿収集運搬業務を民間事業者への委託により実施する。 平成23年4月1日から本格始動したし尿投入施設の維持管理に要する経費を公共下水道事業特別会計に負担金として支出する。
今 後 の 方 向 性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) 本年度も委託により、適正なし尿収集体制を継続していくとともに、し尿処理施設の効率的な維持管理を推進する。 また、平成23年4月1日より供用開始されたし尿投入施設が安定期に入ってきたことや、し尿収集運搬業務委託料が平成26年度に改正することを踏まえ、し尿処理手数料の見直しを行う。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称 し尿処理手数料、浄化槽汚泥処分手数料	千円	37,038	35,328	36,454	36,454	36,454
一般財源	名称	千円	45,358	52,049	47,278	47,278	47,278
事業費 合計			82,396	87,377	83,732	83,732	83,732

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標	
成果 指標	①	キロリットル	し尿収集量（登別市生活廃水処理基本計画による見込量）	目標値	6,715	6,255	5,581	5,186	4,814
			実績値	6,346	6,127				
	②		目標値						
		実績値							

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
登別市生活排水処理基本計画 平成18年し尿処理見込量：10,720kℓ 平成19年し尿処理見込量：9,150kℓ 平成20年し尿処理見込量：7,620kℓ 平成21年し尿処理見込量：6,260kℓ 平成22年し尿処理見込量：5,280kℓ 平成23年し尿処理見込量：6,715kℓ  平成18年し尿処理量実績：10,803kℓ 平成19年し尿処理量実績：9,613kℓ 平成20年し尿処理量実績：9,013kℓ 平成21年し尿処理量実績：8,097kℓ 平成22年し尿処理量実績：7,173kℓ 平成23年し尿処理量実績：6,346kℓ	平成24年度し尿処理見込量：6,255kℓ 平成24年度し尿処理量実績：6,127kℓ (平成25年3月末現在)  平成25年度は3年契約の最終年になることから、し尿収集量の減少見込みを踏まえ、収集車両台数の見直しや臨時的な汲取りに迅速に対応できる体制の構築など、契約更新に向け事務を進めていく。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 下水道接続世帯が増加しても、下水道区域外の浄化槽汚泥やし尿がなくなる限り、必要なため。
	<input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 下水道接続世帯が増加しても、下水道区域外の浄化槽汚泥やし尿がなくなる限り、必要なため。
	<input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 下水道接続世帯が増加しても、下水道区域外の浄化槽汚泥やし尿がなくなる限り、必要なため。
	<input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 下水道接続世帯が増加しても、下水道区域外の浄化槽汚泥やし尿がなくなる限り、必要ではあるが、具体的な成果として把握することは困難である。
	<input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

<b>改善</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	平成23年4月1日より供用開始したし尿投入施設が安定期に入ってきたことや、し尿収集運搬委託料を平成26年度に改正すること、また今後し尿収集量が減少する見込みの中で、効率的効果的なし尿収集業務を行い、受益と負担の公平性を確保するため、し尿処理手数料の見直しを行う。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>改善</b>	備考	担当の考えのとおり改善を行うこと。
-----------	----	-------------------

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

<b>改善</b>	備考	消費増税による経済的負担が増すことを一因として、平成26年度においては市全体の方針で使用料・手数料の見直しは行わないこととしたが、今後も引き続き状況を見ながら見直しを検討すること。
-----------	----	--

〔評価区分〕

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)